

# 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来創造IT学科	科目名	ITトレンドレクチャー		
授業種類	理論	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	野木政延		
授業内容	《授業概要》 本授業では、昨今のITのトレンドに関して、幅広く理解することを目指し、今後のITを牽引するテクノロジーである、DX・IoT・AI・クラウドなどを学習します。一つ一つのテクノロジーを深く理解するのではなく、それらのテクノロジーに関する概要を学び、昨今のITの動向を体系的に理解することを目的としております。また、よく知らないテクノロジーについて、自分自身で調査して解決するための能力を身に着けることも目的としております。				
	《学習の到達目標》 1 ITトレンドのテクノロジーに関して、その概要を知る。 2 ITトレンドのテクノロジーが社会でどのように活用されているかを知る。 3 知らない用語について、自身で調査し、解決することができる。				
授業計画					
前期			後期		
1	最新のITトレンド	16	サーバ仮想化、ストレージ仮想化、ネットワーク仮想化		
2	DXとは、DXが生み出す価値	17	クラウドコンピューティング		
3	DXの手法と考え方	18	アジャイル開発		
4	DXまとめ、レポート作成	19	DevOps		
5	IoTとは、モノのサービス化	20	システム開発とクラウドサービス		
6	IoTを支える技術	21	開発と運用まとめ、レポート作成		
7	IoTまとめ、レポート作成	22	RPA演習		
8	人工知能、機械学習、ディープラーニング	23	VR、ビットコイン		
9	AIの進化	24	量子コンピュータ		
10	AIまとめ、レポート作成	25	常識を変えるテクノロジーまとめ、レポート作成		
11	ディープラーニング演習①	26	ブロックチェーン演習①		
12	ディープラーニング演習②	27	ブロックチェーン演習②		
13	ディープラーニング演習③	28	ERP		
14	ディープラーニング演習④	29	ERPまとめ		
15	前期まとめ	30	後期まとめ		
前期試験			後期試験		
教科書参考書	教科書 コレ1枚でわかる最新ITトレンド 著者:斎藤 昌義 技術評論社				
成績評価	授業内の専門用語と各装置やソフトウェア等の役割について8割程度理解できることを到達目標とする。 【評価方法】 1.授業態度 20% 2.レポート 40% 3.前期試験と後期試験 40%				
履修上の留意点	それぞれの技術について、身の回りでのどのように活用されているか、具体的な事例を理解すること。				